1. 新しい中央図書館像

- 1) 板橋区立図書館の中央館として、区内 10 館の地域図書館の核となり、区民の求める適切な情報を提供する図書館
- 2) ボローニャ子ども絵本館を併設し、"絵本のまち板橋"として、世界の絵本の魅力を発信する図書館
- 3) 子ども向け図書、サービスを充実させ、親子で本に親しむ場を提供する図書館
- 4) あらゆる世代の区民が集い、学び合い、交流、活動する場となる図書館
- 5) 公園内の緑に囲まれた環境の中で豊かで快適に過ごすことができる図書館

2.5つの重点テーマと主な取組



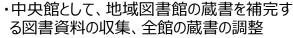




◎生涯を通じこころの豊かさを支える図書館

- バランスのとれた蔵書構成、図書等資料の充実
- 利用者に応じたきめ細やかなサービス・事業による生涯学習機会の提供
- 図書館利用を促進するためのきっかけづくり
- 図書館サポーターの活動の場を確保し、社会参画の機会を提供

中央館としての蔵書構成 / 豊富な図書資料 / きめ細かいサービス・展示 / 生涯学習の場 / 情報発信の強化 / サポーター(ボランティア) 等



- ・利用者に応じたきめ細やかなサービス
- ・SNS やデジタルサイネージ(電子広報機) など ICT を活用した情報提供の強化
- ・図書館ボランティアやグループを組織化した図 書館サポーター制度の創設
- ・開架スペースの確保
- ・蔵書にあわせた複数の書庫
- ・ICT 化に対応できる施設
- 活動や発表の場となるスペース
- 多目的室(サポーター室)の設置



◎課題解決型図書館

- 課題解決をサポートするためのレファレンスサービスの充実
- 他自治体図書館や関係機関との連携強化
- ICT を活用した資料確保とインターネット環境の整備

参考資料の収蔵 / レファレンス充実 / ネットワーク強化 / スタッフ育成 / ICT 環境の整備 等



- ・中央館としてのレファレンス機能を満たす参考 資料の収蔵
- ・レファレンスカウンターの増設とレファレンス体制
- ・オンラインデータベースの拡大
- ・他図書館や関係機関とのネットワーク強化

- ・レファレンスカウンターの設置
- ・ICT 化に対応できる施設
- ・グループ学習室の設置
- ・資料を探しやすいサイン・配架

等



◎学校・家庭と連携する図書館

年齢に応じた図書・サービス / 学校図書館への支援

- 子ども向けの資料・サービスの拡充による読書活動の支援
- 家庭・地域・学校と連携した読書活動の推進
- 学校のニーズに対応する図書館サービス、学校関連事業の充実



- ・利用者の年齢や成長に応じた図書の収集と
- ・児童エリアとボローニャ子ども絵本館との連携し たサービスの提供
- ・児童エリアにおける企画展の実施
- ・学校貸出用図書の充実
- ・中学校とヤングアダルトコーナーとの連携 等
- ・児童エリアとボローニャ子ども絵本館の整備
- ・防音に配慮した児童エリア
- ・児童図書・絵本のレファレンスカウンターの整備
- ・ヤングアダルト(青少年)コーナーの充実 等



◎地域のコミュニティ形成を支援する図書館

区民が集い、情報交換を行う場と機会の提供

/ 青少年向けサービス / 本の魅せ方 / 親子利用の促進 等

- 利用者同十の多世代交流の場を確保
- 災害時の情報発信などの地域防災拠点の形成

集い話し合う場の提供 / 多世代交流・活動・発表の場の提供 / 公園利用との連携 / 防災機能 等



・区民等へのいたばしギャラリーの貸出

- ・区内の大学や関係機関との連携講座等の
- ・公園利用者を考慮したいたばしラウンジ (カフェ) などの設置や公園イベントとの連携
- ・防災関連図書の巡回展示、講座等の実施
- いたばしギャラリーの整備
- いたばしラウンジ (カフェ) の整備
- ・耐震性に優れた建物の建築・整備
- ・公衆無線 LAN の整備
- ・災害対策用倉庫の整備



◎ 板橋の魅力"緑と文化"を象徴する図書館

- "水や緑"などと調和した心地よく読書できる空間作り
- 区の特性となる資料の収集・保存・活用
- ボローニャ子ども絵本館を活用した事業展開
- 教育科学館など近隣施設や公園と一体となった新たな連携事業の実施

緑に囲まれる / 公園利用との連携 / 世界の絵本 / 板橋の魅力創出 / 教育科学館との連携 / 近隣小中学校との連携 等

- ・板橋区の特色となる図書の集約と公開
- ・絵本コンシェルジュの配置
- ・海外絵本の一般貸出(一部)の実施
- ・科学関係の図書の充実、教育科学館での展示
- ・平和公園イベントと図書館企画展示の連携
- ・緑と文化に関する講演会の開催
- いたばしギャラリーの整備
- ・緑に親しむ空間の整備
- 板橋区コーナーの設置
- ・児童・絵本レファレンスカウンターの整備
- ・絵本の表紙を見せる書架の整備







3. 新しい中央図書館の施設整備計画について

1) 新しい中央図書館の蔵書数



2) 面積構成(例)

エリア名・部門構成	面積
エントランスホール	
いたばしギャラリー	2F0 m²
いたばしラウンジ	350 m
_多目的室(サポーター室)	
開架閲覧エリア	1,490 m
視聴覚資料エリア	1,450111
参考図書	350 m
地域資料・櫻井徳太郎文庫	330111
いたばしボローニャ子ども絵本館	760 m
児童エリア	
ヤングアダルト(青少年)エリア	60 m ²
ハンディキャップサービスエリア	20 m ²
書庫エリア	390 m ²
共用エリア	990 m ²
事務作業エリア	400 m
駐車場	470 m
延べ面積 (想定)	5,280 m

※別途、駐輪場を屋根付きにした場合は、220㎡を加算する。



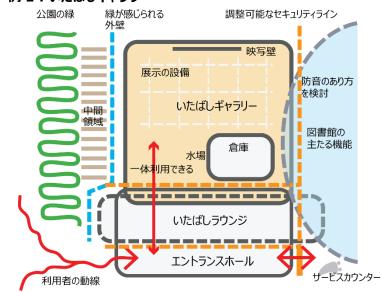
新しい図書館はあなたの「知りたい」に応える図書館です。

4) 今後のスケジュール

基本 設計期間 工事期間 蔵書点検 開館 計画 図書購入準備 選書・購入 完了 平成 28 年度 平成29年度 平成30年度 平成 31 年度 平成 32 年度

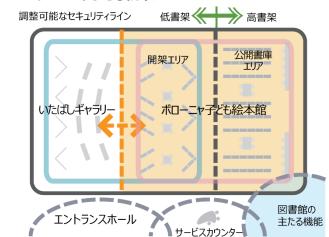
3) 新しい図書館のエリアイメージ

例 1: いたばしギャラリー



いたばしギャラリーは図書館や区民企画の展示やイベントを実施 するスペースであるため、エントランスに近く、図書館内の多くの機 能とつながっていることが望ましい。

例 2:ボローニャ子ども絵本館



ボローニャ子ども絵本館と他の様々な機能を複合的に配置するこ とで外国語のカラフルな絵本を通じて子どもたちが本に親しむ環境 を整えることができます。

4. 平和公園内の建設場所について

公園と一体となった、板橋の魅力"緑と文化"を象徴する図書館

- 一 公園と図書館が互いに補いあって魅力を高める、緑と文化を象徴する図書館です。 配置計画の与条件
 - 建築面積は 1500 ㎡を超えない。
 - 一般用の縦動線と管理用の縦動線は分離する。
 - スロープは建築面積に含まない。
 - セキュリティの確保は ICT 等の活用により、利用形態に応じて柔軟に対応可能な計画とする。 自動車は 11 台、自転車は 150 台以上駐車・駐輪できるようにする。

 - 外周樹木と建物の間は木洩れ日が差し込む中間領域を設ける。
 - 敷地内に周回ウォーキングコースを設ける。

